

令和6年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

呉市立横路小学校
(横路中学校区)

全国平均値との差		
	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	+16.3	+10.6
令和5年度	+5.8	+2.5
令和4年度	+11.4	+7.8

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

国語 話すこと・聞くこと 我が国の言語文化 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 情報の扱い方 数と計算 図形 変化と関係 データの活用 全国平均 県平均 本校 本校 全国 県 84% 67.7% 69%	重点課題	◎目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、資料を活用して、自分の考えが伝わるように表現を工夫したり伝え合う内容を検討することに課題がある。(設問二(2))【話すこと・聞くこと】(平均正答率 65.0) ◇資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することに課題がある。
	改善の方策	◎3年生以上において、放送朝会や朝の会などでメモを取る練習をする。聞いたことを整理するために、箇条書きで書いたり、キーワードで書いたりする習慣を身に付ける。聞いたことや考えたことを表現する場を設定し、高学年では、資料を活用したり、事実と意見を区別したりして表現する場を設定する。 ◇相手や目的を意識しながら、自分の考えが伝わるように表現を工夫して発表する活動を設定する。その際、相互評価したり助言し合ったりする学習活動を取り入れ、資料の提示の仕方についても評価する場面を設け、繰り返し丁寧に指導していく。
	検証	◎全国学力(設問二(2)(第5,6学年,1月)目標 80%→結果 87% 全国学力(設問三)(第5,6学年,1月)目標 80%→結果 90% ◇標準学力調査(1~6年,12月)目標 全国平均以上
算数 数と計算 図形 変化と関係 データの活用 全国平均 県平均 本校 本校 全国 県 74% 63.4% 64%	重点課題	◎異種の二つの量として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりすることに課題がある。(設問(3))【変化と関係】(平均正答率 33.3%) ◇問題を解くための数量を比較して読み取り、判断の理由を言葉や数を用いて説明することに課題がある。
	改善の方策	◎全学年において、問題文に線を引いたり、大事なところを囲んだりする習慣を付ける。3年生以上では、問われていることを図や数直線表して演算決定の説明をさせるなど、式と図、言葉を組み合わせて説明する場を設定する。 ◇複数の資料を比較して、必要な情報を読み取る学習を行い、問題文に線を引いたりキーワードを抜き出したりして、算数的用語を用いて説明する活動を取り入れる。
	検証	◎全国学力(設問(3)第5,6学年,1月)目標 80%→結果 85% ◇標準学力調査(1~6年,12月)目標 全国平均以上

【来年度に向けて】

各教科とも、低学年段階から基礎基本の読解力や計算力を確実に積み上げていくために、帯タイムでの反復練習やキュービナを活用したドリル学習に確実に取り組ませる。ロイロノートにおいて思考ツールや共有ノートを活用することで、どの教科でも自分の考えを筋道立てて考えたり、説明したりする活動を意図的に設定する。また、レディネステストや習熟テストにおいても ICT を効果的に活用することで個別に応じた学習を進めることができるようにする。さらに、分かっていること、尋ねられていること等、問題の中の着目すべき要素に線を引いたり印を付けたりするなど、問題の解き方にも習熟できるよう、授業の中で意識して指導していくようにする